

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月7日

上場取引所 東 大

上場会社名 ローランド株式会社

コード番号 7944 URL <http://www.roland.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 英一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 西澤 一郎

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

TEL 053-523-3652

平成24年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	36,278	△1.9	203	—	△30	—	△223	—
24年3月期第2四半期	36,989	△5.8	△183	—	△390	—	512	—

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 △226百万円 (—%) 24年3月期第2四半期 1,604百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	△9.41	—
24年3月期第2四半期	21.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円銭	百万円	円銭	%	円銭
25年3月期第2四半期	73,226	—	58,878	—	59.4	1,829.68
24年3月期	73,643	—	60,260	—	59.9	1,855.45

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 43,520百万円 24年3月期 44,135百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	7.50	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	12.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	74,000	△1.1	700	△19.8	200	46.2	△2,200	—	△92.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料6ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	25,572,404 株	24年3月期	25,572,404 株
25年3月期2Q	1,786,558 株	24年3月期	1,785,290 株
25年3月期2Q	23,786,487 株	24年3月期2Q	23,787,923 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料5ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・決算補足説明資料は平成24年11月7日(水)に当社ホームページに掲載します。

・当社は、平成24年11月14日(水)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する資料は、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	5
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	6
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	6
3. 四半期連結財務諸表.....	7
(1) 四半期連結貸借対照表.....	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	11
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	13
(5) セグメント情報等.....	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	13

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

連結経営成績

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
売上高	36,989	36,278	△711	△1.9%
電子楽器事業	20,946	20,224	△721	△3.4%
コンピュータ周辺機器事業	16,043	16,053	+10	+0.1%
営業利益又は営業損失(△)	△183	203	+386	—
電子楽器事業	△829	△585	+244	—
コンピュータ周辺機器事業	646	788	+142	+22.0%
経常損失(△)	△390	△30	+359	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	512	△223	△736	—

セグメント別売上高

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
電子楽器	7,938	7,522	△415	△5.2%
ギター関連電子楽器	4,290	4,069	△221	△5.2%
家庭用電子楽器	5,047	5,181	+133	+2.7%
映像・音響及び コンピュータ・ミュージック機器	2,633	2,249	△383	△14.6%
その他	1,036	1,201	+165	+16.0%
電子楽器事業	20,946	20,224	△721	△3.4%
コンピュータ周辺機器事業	16,043	16,053	+10	+0.1%
合計	36,989	36,278	△711	△1.9%

販売地域別売上高

(単位：百万円)

	平成24年3月期 第2四半期累計	平成25年3月期 第2四半期累計	増減額	増減率
日本	4,436	4,593	+156	+3.5%
北米	6,058	5,624	△434	△7.2%
欧州	7,013	6,276	△737	△10.5%
その他	3,436	3,730	+293	+8.5%
電子楽器事業	20,946	20,224	△721	△3.4%
日本	1,793	2,000	+207	+11.5%
北米	3,812	4,139	+327	+8.6%
欧州	5,556	5,217	△338	△6.1%
その他	4,881	4,695	△185	△3.8%
コンピュータ周辺機器事業	16,043	16,053	+10	+0.1%
合計	36,989	36,278	△711	△1.9%

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、北米で景気の減速感が広まるとともに、欧州では債務問題により景気後退局面を迎えました。また、これら欧米景気の影響により、中国等をはじめとする新興国の成長率が鈍化し、日本の景気回復も足踏み状態になる等、厳しい状況で推移しました。

このような経済環境において、電子楽器事業では、鍵盤楽器、打楽器、ギター関連機器の主要分野で競争力の高い新製品を投入し、新興国に向けては、各地域特有の音楽スタイルに対応する鍵盤楽器を発売する等、新規需要の開拓を図りました。また、グローバルなショップ・イン・ショップ展開の推進や販売網強化への取り組み等、流通施策にも引き続き注力しました。日本、北米、欧州において、電子ドラムや電子ピアノ等の新製品が売上に貢献しましたが、ステージピアノやシンセサイザー等の既存製品の販売が伸び悩みました。また、アジア等の新興国は着実に成長しました。

結果、売上高は、円高の影響も大きく、202億24百万円（前年同期比3.4%減）となりました。利益面では新製品の生産増による原価率改善により5億85百万円の営業損失（前年同期は8億29百万円の営業損失）と赤字幅が縮小しました。

コンピュータ周辺機器事業では、経営環境の変化に対応すべく、構造改革に取り組みました。新興国市場での競争力強化を図るため、2012年10月よりタイ製造子会社が稼働開始しました。販売体制では、欧州販売子会社のバックオフィス機能を統合・効率化するための子会社を設立し、稼働に向けた準備を進めました。日本や北米では前期に投入したプリンターの新製品を中心に好調に推移しましたが、欧州では南欧の景気低迷や円高の影響により前年同期を下回りました。アジアでは、中国の景気拡大鈍化や、韓国での販売網見直し等により、前年同期を下回りました。

結果、売上高は、160億53百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は、原価率の改善等により、7億88百万円（前年同期比22.0%増）となりました。

以上の結果、全体の売上高は362億78百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は2億3百万円（前年同期は1億83百万円の営業損失）となり、売上割引や為替差損等により30百万円の経常損失（前年同期は3億90百万円の経常損失）となりました。また、最終損益は少数株主への利益振替等により2億23百万円（前年同期は5億12百万円の四半期純利益）の四半期純損失となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における平均為替レート（※）は、80円/米ドル（前年同期82円）、103円/ユーロ（前年同期115円）でした。

（※）海外連結子会社の事業年度は1月～12月のため、平成24年1月～平成24年6月の平均となります。

セグメント毎の販売状況は、次の通りです。

【電子楽器事業】

[電子楽器]

電子ドラムは、新音源を搭載した新製品の発売により売上は増加しましたが、ステージピアノやシンセサイザーの高価格帯の既存商品が北米や欧州を中心に伸び悩みました。結果、電子楽器の売上高は75億22百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

[ギター関連電子楽器]

ギター・シンセサイザーは、日本、北米、欧州において、米国フェンダー社と共同開発した新製品が売上に貢献しましたが、北米では既存製品の販売が減少しました。また、コンパクトタイプのエフェクターやギター用マルチトラック・レコーダーの既存製品が低調に推移しました。結果、ギター関連電子楽器の売上高は40億69百万円（前年同期比5.2%減）となりました。

[家庭用電子楽器]

電子ピアノは、日本、北米、欧州の主要市場で主力機種の新製品が売上に貢献しました。また、自動伴奏機能付きキーボードの海外向け新製品が、欧州や中近東及びアジアを中心に好調に推移しました。結果、家庭用電子楽器の売上高は51億81百万円（前年同期比2.7%増）となりました。

[映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器]

音響機器は欧米を中心に伸び悩みましたが、映像機器はライブ動画配信用AVミキサーが、日本や北米で好調に推移しました。コンピュータ・ミュージック機器では、音楽制作ソフトウェアや周辺機器の販売が低調に推移しました。結果、映像・音響及びコンピュータ・ミュージック機器の売上高は、22億49百万円（前年同期比14.6%減）となりました。

[その他]

日本において、通信カラオケ機器用音源の販売が好調に推移した結果、その他の売上高は12億1百万円（前年同期比16.0%増）となりました。

以上の結果、電子楽器事業の売上高は、202億24百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

【コンピュータ周辺機器事業】

プリンターは、主力のメタリックプリンターの販売が底堅く推移するとともに、立体物に直接印刷できる小型UVプリンターが、スマートフォンケースやノベルティ等のオリジナルグッズ製作用途を中心に好調に推移しました。また、デスクトップサイズの溶剤プリンターも好調に推移し、売上は前年同期を上回りました。

工作機器では、デンタル加工機は、前期発売開始時に販売代理店への出荷が集中した影響で、売上は前年同期を下回りましたが、最終顧客への実売ベースでは着実に販売が増加しています。

サプライ品は、南欧地域でのインクの販売減少により、売上は前年同期を下回りました。

以上の結果、コンピュータ周辺機器事業の売上高は、160億53百万円（前年同期比0.1%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産の状況

総資産は、前連結会計年度末と比較して4億16百万円減少し、732億26百万円となりました。その主な要因は、商品及び製品が9億9百万円、関係会社株式の買取等によりのれんが5億82百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が2億63百万円、受取手形及び売掛金が5億55百万円、未入金等を含むその他の流動資産が6億39百万円、関係会社を新たに連結子会社としたこと等により投資有価証券が5億8百万円それぞれ減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末と比較して9億65百万円増加し、143億47百万円となりました。その主な要因は、1年内返済予定を含む長期借入金が9億95百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して13億81百万円減少し、588億78百万円となりました。その主な要因は、四半期純損失が2億23百万円、剰余金の配当が2億37百万円あり、また関係会社株式の買取等により少数株主持分が7億66百万円減少したことによるものです。

自己資本比率は、主に上述の総資産、純資産それぞれの減少を受け、前連結会計年度末と比較して0.5ポイント低下し、59.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

科目	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	792	1,354	+561
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,024	△1,934	+89
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521	513	+1,035
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△81	△95
現金及び現金同等物の減少額	△1,738	△148	+1,590
現金及び現金同等物の期首残高	19,047	14,063	△4,983
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	118	460	+342
現金及び現金同等物の第2四半期末残高	17,426	14,375	△3,051

当第2四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、143億75百万円となり、前第2四半期末に比べ、30億51百万円の減少となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、13億54百万円の資金の収入があり、前第2四半期連結累計期間と比べ、5億61百万円の収入の増加となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、たな卸資産が増加(資金の減少)した一方、税金等調整前四半期純損失が減少したこと、その他の流動資産が減少(資金の増加)したこと、仕入債務が増加(資金の増加)したこと、法人税等の支払額が減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、19億34百万円の資金の支出となり、前第2四半期連結累計期間と比べ、89百万円の支出の減少となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、関係会社株式の取得による支出が増加し、子会社が自己株式を取得した一方、前第2四半期連結累計期間においては、定期預金の預入による支出があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、前第2四半期連結累計期間は5億21百万円の資金の支出であったのに対し、当第2四半期連結累計期間は5億13百万円の資金の収入となりました。その主な要因は、当第2四半期連結累計期間において、長期借入れによる収入があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月9日に公表しました通期業績予想ならびに期末配当予想につきまして見直しを行いました。

なお、詳細につきましては、本日、別途「特別損失の発生及び業績予想の修正ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」で開示しています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

この変更による当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,888,089	14,624,832
受取手形及び売掛金	9,828,197	9,272,822
商品及び製品	14,999,529	15,909,279
仕掛品	702,222	519,491
原材料及び貯蔵品	4,550,601	4,665,523
その他	4,298,909	3,659,555
貸倒引当金	△321,294	△336,745
流動資産合計	48,946,255	48,314,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,794,648	20,518,729
機械装置及び運搬具	3,395,334	3,373,904
工具、器具及び備品	10,841,935	11,064,468
土地	7,884,078	8,009,098
建設仮勘定	81,756	259,143
減価償却累計額	△25,286,765	△25,526,724
有形固定資産合計	17,710,988	17,698,619
無形固定資産		
のれん	418,822	1,001,385
ソフトウェア	750,812	738,066
ソフトウェア仮勘定	262,664	184,078
その他	169,743	159,707
無形固定資産合計	1,602,043	2,083,237
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109,667	1,601,424
その他	3,355,237	3,657,540
貸倒引当金	△81,162	△129,207
投資その他の資産合計	5,383,742	5,129,757
固定資産合計	24,696,774	24,911,613
資産合計	73,643,029	73,226,372

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,263,406	3,183,864
短期借入金	798,464	813,862
1年内返済予定の長期借入金	253,904	454,881
未払法人税等	193,173	352,363
賞与引当金	1,244,063	1,279,684
製品保証引当金	419,325	395,627
その他	4,293,281	3,917,775
流動負債合計	10,465,619	10,398,060
固定負債		
長期借入金	9,616	804,569
繰延税金負債	347,115	297,115
再評価に係る繰延税金負債	164,155	164,155
退職給付引当金	473,175	640,344
その他	1,922,869	2,043,441
固定負債合計	2,916,932	3,949,627
負債合計	13,382,551	14,347,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,274,272	9,274,272
資本剰余金	10,801,175	10,801,175
利益剰余金	33,793,387	33,309,073
自己株式	△1,768,520	△1,769,346
株主資本合計	52,100,315	51,615,175
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,531	△148,194
土地再評価差額金	△1,475,849	△1,453,231
為替換算調整勘定	△6,499,089	△6,493,339
その他の包括利益累計額合計	△7,964,407	△8,094,765
少数株主持分	16,124,570	15,358,275
純資産合計	60,260,478	58,878,685
負債純資産合計	73,643,029	73,226,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	36,989,601	36,278,455
売上原価	22,716,534	21,694,320
売上総利益	14,273,066	14,584,135
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	1,678,119	1,432,821
貸倒引当金繰入額	—	84,294
給料及び賞与	6,796,525	6,645,176
賞与引当金繰入額	519,402	575,932
役員賞与引当金繰入額	20,000	—
製品保証引当金繰入額	100,164	120,490
その他	5,342,125	5,522,132
販売費及び一般管理費合計	14,456,337	14,380,847
営業利益又は営業損失(△)	△183,271	203,287
営業外収益		
受取利息	51,993	41,244
受取配当金	39,999	32,715
その他	141,979	124,032
営業外収益合計	233,972	197,991
営業外費用		
支払利息	34,361	29,567
売上割引	315,309	276,592
為替差損	68,400	97,468
その他	22,750	28,371
営業外費用合計	440,821	432,000
経常損失(△)	△390,120	△30,720
特別利益		
固定資産売却益	6,961	28,009
投資有価証券売却益	—	3,733
特別利益合計	6,961	31,743
特別損失		
固定資産除売却損	11,952	61,049
投資有価証券売却損	—	243
投資有価証券評価損	5,876	—
特別損失合計	17,829	61,292
税金等調整前四半期純損失(△)	△400,987	△60,270
法人税、住民税及び事業税	241,577	518,858
法人税等調整額	△1,214,257	△469,646
法人税等合計	△972,679	49,211
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	571,691	△109,481
少数株主利益	59,068	114,343
四半期純利益又は四半期純損失(△)	512,622	△223,825

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	571,691	△109,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△61,876	△160,231
土地再評価差額金	—	22,617
為替換算調整勘定	1,094,852	21,026
その他の包括利益合計	1,032,975	△116,587
四半期包括利益	1,604,667	△226,068
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,148,884	△354,183
少数株主に係る四半期包括利益	455,782	128,114

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△400,987	△60,270
減価償却費	1,139,833	1,050,461
のれん償却額	31,203	64,266
受取利息及び受取配当金	△91,993	△73,959
支払利息	34,361	29,567
為替差損益(△は益)	237,843	141,011
固定資産除売却損益(△は益)	4,991	33,039
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△3,490
投資有価証券評価損益(△は益)	5,876	—
売上債権の増減額(△は増加)	422,465	△120,925
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,193,105	△886,120
その他の流動資産の増減額(△は増加)	364,435	1,018,332
仕入債務の増減額(△は減少)	△635,176	157,051
その他	△720,052	248,387
小計	1,585,905	1,597,352
利息及び配当金の受取額	91,086	65,544
利息の支払額	△33,863	△32,186
法人税等の支払額	△850,547	△276,510
営業活動によるキャッシュ・フロー	792,580	1,354,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△609,449	△22,099
定期預金の払戻による収入	608,740	599,625
有形固定資産の取得による支出	△776,438	△979,384
有形固定資産の売却による収入	18,780	268,572
無形固定資産の取得による支出	△132,168	△200,734
投資有価証券の取得による支出	△10,396	△124,576
投資有価証券の売却による収入	—	13,070
関係会社株式の取得による支出	△949,259	△1,188,662
子会社の自己株式の取得による支出	—	△222,510
長期貸付けによる支出	△444	△25,650
長期貸付金の回収による収入	6,257	8,228
その他	△179,624	△60,215
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,024,003	△1,934,336

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,915	△4,005
長期借入れによる収入	—	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△2,046	△4,074
配当金の支払額	△297,349	△237,871
少数株主への配当金の支払額	△205,751	△225,252
その他	△20,593	△15,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△521,824	513,216
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,309	△81,409
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,738,937	△148,328
現金及び現金同等物の期首残高	19,047,136	14,063,151
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	118,655	460,930
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,426,854	14,375,753

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	20,946	16,043	36,989
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,946	16,043	36,989
セグメント利益又は損失(△)	△829	646	△183

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しています。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	電子楽器 事業	コンピュータ周辺 機器事業	合計
売上高			
(1)外部顧客への売上高	20,224	16,053	36,278
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	20,224	16,053	36,278
セグメント利益又は損失(△)	△585	788	203

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。